

## 第 1 回 新丸山ダム水源地域協議会 要旨

日 時：平成 29 年 8 月 25 日（金）10:00 ～ 11:00

場 所：八百津町ファミリーセンター 2 階講義室

出席者：瑞浪市長 水野光二

恵那市長 小坂喬峰

八百津町長 金子政則

御嵩町長 渡邊公夫

関西電力（株）東海支社総務部長 荻田恭之（東海支社長代理出席）

国土交通省丸山ダム管理所長 下村卓

国土交通省新丸山ダム工事事務所長 川瀬宏文

### ●開会挨拶

#### 【川瀬新丸山ダム工事事務所長】

- ・丸山ダムには最近のダム人気により、全国各地から多く見学者が訪れている。ダム再生の目玉事業である新丸山ダムの工事が本格化すると、さらに多くの見学者が見込まれる。
- ・新丸山ダムは、ダム本体の設計や施工計画の検討を、この 1、2 年で行い、今後、ダム工事が本格化する。
- ・新丸山ダム建設に伴う基盤整備や丸山ダムと工事中的新丸山ダムそのものを活かした観光客の更なる誘致など、水源地域の振興に向けた方策を検討することを目的に「新丸山ダム水源地域協議会」を開催。
- ・丸山ダム、新丸山ダムが本来の治水・利水機能のみならず、水源地域の発展に少しでもお役に立ちたいとの思い。

### ●議事

#### （２）新丸山ダム水源地域の振興に向けて

八百津町、御嵩町、恵那市、瑞浪市の地域振興に向けた考え方

#### 【金子八百津町長】

- ・ダム工事を見学できる展望台を整備していただき、多くの人がダムを見ることができる環境の整備をしてもらいたい。
- ・杉原千畝記念館に海外からの来訪者も多く、新丸山ダム建設工事が本格化すれば、更に来訪者も多くなることが予想されることから、町としても期待。海外向けのツアーも考えていけると良い。
- ・県外や海外向けの他、町民、地域の方に向けたツアー方策も考えていけると良い。

#### 【渡邊御嵩町長】

- ・御嵩町民において、丸山ダムの左岸が御嵩町にあるという認識が薄い。町民への P

Rのためにも目に見える形の整備が必要と考える。

- ・ダム周辺に橋からみえるきれいな里山の印象を与えられるような整備を考えていきたい。
- ・木曽川の川のつながりや中山道のつながりを活かした具体的な観光コースも提案していきたい。
- ・飛騨木曽国定公園に含まれる自然環境を活かし、観光コースを具体的に提案していきたい。

#### 【小坂恵那市長】

- ・リニアへのアクセスとして付替国道418号に対して大きく期待している。
- ・丸山ダムや大井ダムの水力発電、自然エネルギーの活用をテーマとした取り組みなど考えたい。
- ・恵那市は、観光を一つの大きな産業と捉え、観光客の誘致で、地域（地元）で暮らしていける人を一人でも増やしていこうという考えである。
- ・人を呼ぶには、ビューポイントが重要であり、見る、食べる、遊ぶ（学ぶ）の「るぶ」をキーワードに考慮した複合的な視点で観光を目指すことが重要である。

#### 【水野瑞浪市長】

- ・おばあちゃん市（恵那市）のある小里川ダムは、近場での成功例である。これを分析して検討するとよい。新丸山ダムの魅力のアップに繋がる。
- ・新丸山ダム、小里川ダム、阿木川ダム、大井ダムとダムを結ぶコースは、一日十分楽しめるコースになる。ダム見学の間に、瑞浪で言えば相生座などの観光を盛り込こむとで、2市2町の連携したツアーが組める。

#### 【関西電力（株）東海支社 荻田総務部長】

- ・当社として、水源地域の活性化のためダムツーリズムにおける発電所見学の受入や時期設定について出来るかぎりの協力をする。

#### 【下村丸山ダム管理所長】

- ・新丸山ダムの建設が始まれば、建設従事者や見学者など多くの方々が集まる。ダム建設を始めていく今から何かしら仕掛けていくべきで、観光資源としても活用が出来るのではないかなと思う。
- ・観光会社のダムツアーを今年3日間実施している。旅行会社でも、積極的にダム見学を取り入れていて、参加者も増えているようだ。
- ・市町の職員の方々もダム見学の希望があればご案内する。

#### 【川瀬新丸山ダム工事事務所長】

- ・市長、町長のいろいろなアイデアをお聞きし、大変勉強になりました。今後、様々な検討ができると思った。
- ・残土受入地としての基盤整備や、これからの道路設計に関しては、市町の整備に対する意見を考慮した周辺整備を検討していきたい。
- ・地域の観光資源を活用したダムツアーの企画を具体的に検討していきたい。

●開会挨拶

【金子八百津町長】

- ・瑞浪市長は「小里川ダムは最高の事例で見てもらいたい」、恵那市長は「観光客にお金を落としてもらえる住民の町をつくりたい」、御嵩町長は「飛騨木曽国定公園の安全対策を行い、観光コースを作り上げたい」と様々な意見をいただき、有意義な会議となりました。国土交通省、関西電力（株）と一緒にあって、協議会がますます発展することを願ひまして閉会の挨拶とする。

【決定事項】

- ・幹事会・ワーキンググループを設置して、地域振興にかかるハード整備・ソフト整備の具体的手法を検討する。
- ・先ずはソフト整備として、ダムツアーについて企画検討の調整を行う。